

問

根本 孝代 議員  
ねもと たかよ

町内循環バスにかわる公共交通  
(タクシー) 利用料金補助事業について

答 検討していきます (町長)

町の交通弱者対策として、平成26年4

月から町内循環バス制度にかわり、タクシーを利用した料金補助制度が実施されています。

このタクシー利用料金補助事業の運用を開始してから早5カ月が過ぎましたが、これは運転免許証の交付を受けていない、運転免許証は持っていても運転することができないなどといった、いわゆる交通弱者を支援する制度です。しかし、恣意的に解釈し、通院買い物、公共施設・金融機関・駅などへの移動といった利用目的ではない使い方や、日常生活の交通手段に支障をきた



タクシーのりば (松久駅)

さない方も利用しているのではないかと、という町民の声があります。そこで、

① 交付申請者は何名か。また、予算額に対してどのくらいの支出がされているのかお伺いします。

② 利用目的の把握は行っているのかお伺いします。

③ 年間交付限度枚数96枚(4万8000円分)が適当な金額なのか、算出根拠をお伺いします。

町長

① 8月末現在の交付申請者は478人、タクシー事業者からの請求は8月分までで約300万円、月平均60万円の支出です。このまま推移すると、予算額500万円に対して不足が生じるので、12月の定例議会で補正予算を考へて

います。

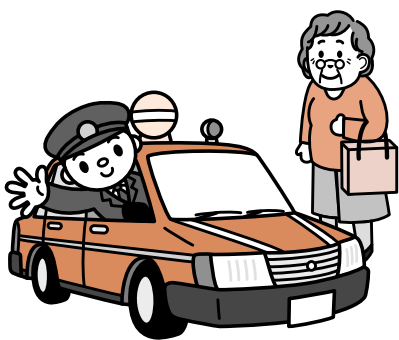
② 使い方は利用券交付時に説明し、タクシー事業者には注意事項を指示しています。

③ タクシー運賃を想定し、利用券1枚当たりどのような利用ができるかを検討、その結果、1月当たり4000円、

券にして8枚が妥当と判断しました。

■ その他の質問

どうして身近な町政に無関心なのか、少しでも町政に関心を持っていただきたい、意識変革の一助として、町民議会の復活を提案しました。





問

櫻沢 克幸議員

# 増加する 空き家対策等について

## 答 条例化を検討したい(町長)

**問** 人口減少の流れは加速し、出産、結婚子育て支援、若者定住・移住促進政策、雇用促進等取り組むべき課題が山積している。安心・安全、防災・防犯対策としての空き家対策について伺う。空き家戸数、課題、町条例制定、地域活性化への対策等について伺う。



巡回活動を実施している。本庄市や上里町では、適正管理に関する条例を策定している。今後検討していきたい。利用対策については、今年度より美里町定住促進奨励金制度の中で、中古住宅の取得の場合も交付の対象にしており、有効に活用されるよう積極的に周知していく。

## 各行政区より提出されている陳情について伺う

**町長** 平成18年度調査において空き家件数は74戸と確認している。その後、調査は行っていない。県内の空き家は10軒に1軒の割合であり、調査の都度増加している。問題点としては、不法投棄や不審

者の侵入、不審火、災害時の倒壊等の懸念がある。町では、職員や防犯パトロール員、不法投棄監視員によ

**問** 美里町は、災害が少ない地域と言われているが、大雪災害や地震災害等発生し、その復旧・復

興が遅れている。防災体制の再検討を行い、さらに強化が必要である。また、各行政区から提出されている多くの陳情が大幅に遅れていると思われる。現在の陳情数、進捗状況、達成率、今後の実施予定と優先順位及び課題等について伺う。

**町長** 平成4年度〜平成26年8月までで124カ所の陳情を受けている。協力の得られない陳情もあり、達成率32%である。緊急性や寄居P.A.S. マーナーC事業の進捗も勘案しながら優先度を図り、順次整備を進める。防災体制の再点検については、災害対策本部設置基準や災害時避難情報に関する発令基準等の整備をした。また、図上訓練や実践訓練は、危険な場所や緊急車両の通れない道、災害時に手助けが必要な人等の確認、自助・共助の必要性がさらに高まったことと認識している。また、家庭内や地域内防災力が向上するように対策を講じている。土砂災害訓練では、広木地区の避難訓練を実施した。



今定例会での一般質問は7名。町のことについて活発な議論が交わされました。

問

角田 朝枝議員

# 教育委員会制度改悪で 子どもたちを守れるのか！

## 答 政治的な中立性というのは保つと考えています(町長)

**問** 今回2つの問題があります。1つは法案が導入した教育大綱の規定です。

員長は廃止になります。現制度は、教育長を任命し、問題を感じたら罷免できません。教育長を指揮監督する

権限を持っています。ところが、法案によってこうした権限をすべて失います。新教育長の任期は3年とされ、大綱で教育方針を縛り、新教育長が教育方針を支配していくとなれば、愛国心教育の押し付けや競争教育の加速なども心配されます。

いったものは今までも教育長と協議しながら、できるものは実行してきました。基本は子どもたちの健全育成です。政治的なものをこり押しをするという考え方は今までもこれからはありません。

ど重いものではありません。上げれば払えない人が増えるだけではないでしょうか。短期保険証発行も104人と過去最高です。もうちょっと待つことはできないのでしょうか。

制定は義務です。大綱は、国の教育振興基本計画の基本的な方針を参酌してつくるものとされています。教育への国家支配を一層強めるものです。首長と教育委員会との協議機関である総合教育会議を設置して、そこで協議するとしています。が、教育委員会側が反対しても首長が決定できます。

もう1つの問題は、新教育長です。新教育長は、事務局のトップである教育長と兼ねるポストで、教育委



**町長** 制度が国の方で変えられた後については当然それに対応しなければいけないですけど、基本的な考えは今までと変わりませんので、教育行政については教育長を中心とする教育委員会に基本的には委ねております。私もやってほしいというものはありますので、そ

**問** 国保税は平成25年度に上げたばかりです。それを1年後にまた上げるというのは町民にはなにと大変なことですか。4月から消費税も8%になっただけです。税の公平さとか言いますが、人の命ほ

**町長** 本来必要な受益者負担の3割以上です。この以上町が負担するということとはできないだろうと、思っています。少なくとも過去必要な時に値上げをしなかったツケが今きていると思



美里町では、3村合併60周年・町制施行30周年を記念したいろいろなイベントが行われます。広報やホームページをチェックしてね♪





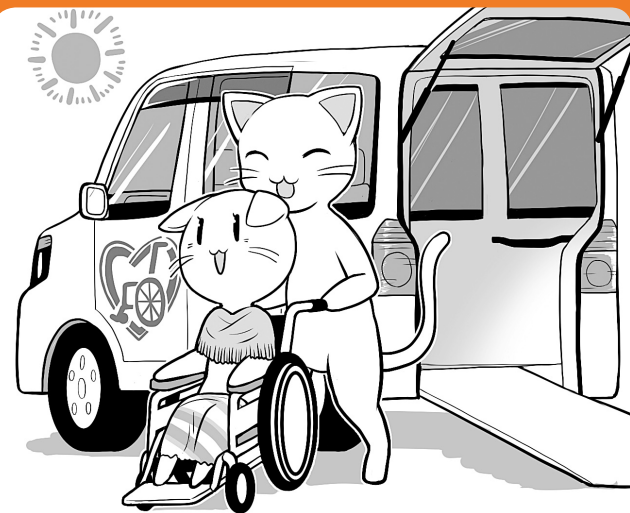
問

中嶋 敬子議員

弱者のためにもっと考えて！

公共交通利用料金補助事業について

答 介護タクシーについては認識している(町長)



問 循環バスの代わりになる交通手段として、この制度は始まりました。もともと自分で外出できる方のためのもので、本当に困っている人のための制度になっていません。介護タクシーとの契約を推進することについて考えを伺います。

町長 本年度の推移を見る中で、真に必要な目的や使い方、金額設定等を研究してまいります。介護タクシーについては大変利用しがいのあるタクシーだと認識しておりますので、ご指摘のことは十分踏まえながら、何ができ

防災について

問 これから起こり得る天災に向けての対策は進んでいますか。

町長 町では、災害用食料、水、毛布、衛生用品などは、毎年備蓄を行っております。また、大雨時の対策として、土のうを常時500袋、役場倉庫に保管して、いつでも搬送できるように備蓄をしております。さらに、美里町地域防災計画に基づいた災害対策本部設置基準や、災害時避難情報に関する発令基準、災害時に速やかに対応できる各種マニュアル等に基づき、天災に向けての対策を図っております。

備蓄品の中にプライバシーを守る手段や衛生用品は含まれていますか。

町長 町では、災害用食料、水、毛布、衛生用品などは、毎年備蓄を行っております。また、大雨時の対策として、土のうを常時500袋、役場倉庫に保管して、いつでも搬送できるように備蓄をしております。さらに、美里町地域防災計画に基づいた災害対策本部設置基準や、災害時避難情報に関する発令基準、災害時に速やかに対応できる各種マニュアル等に基づき、天災に向けての対策を図っております。

■その他の質問  
・災害時応援協定について  
・図上訓練について等



問

笹井 均議員

美しい里、美里町の実現と公共施設等の樹木の適切な管理を

答 校庭の見通しがよくなり、安全、安心につながる(町長)

問 ①ポピー祭りやコスモスまつりの費用を削減し「農業関係予算」に投入した効果 ②公園の樹木や水路等にある雑木の伐採管理 ③学校や公園などの樹木管理を適切にすること ④ケヤキ並木のある国道254号沿いの農地は肥料が吸収されて作物が育たないことの対策をお聞かせください。

町長 ①里山の環境保全などに取り組んでいます。②各行政区の公園や道路のり面や水路の草刈り等は地域にお願いしています。③各学校内の高木伐採で、校庭の見通しがよくなり、安全安心につ

町長 ①ポピー祭りやコスモスまつりの費用を削減し「農業関係予算」に投入した効果 ②公園の樹木や水路等にある雑木の伐採管理 ③学校や公園などの樹木管理を適切にすること ④ケヤキ並木のある国道254号沿いの農地は肥料が吸収されて作物が育たないことの対策をお聞かせください。



町長 県に対し交通安全の観点から維持管理をお願いしております。肥料の件は聞いておりません。

災害対策の体制づくりを進めること

問 防災マップやハザードマップが活用される体制づくりと、土砂災害危険指定区域の住民に避難方法など周知徹底し、防災対策をすること。

町長 防災ガイドブックをより有効に活用できる方策を検討し、地域に合った防災訓練等を自主防災組織と実施します。

町政運営の基本方針である町長の公約について

問 原町長の初出馬時の公約で「4年以内に行なうこと」①将来の合併に備え、美里町から合併に関する勉強会設置を提案 ②農産物販売所の充実、市民農園の開設、観光果樹園の駐車場・トイレの設置 ③新幹線「本庄早稲田駅」までのアクセス道路の整備等の現状と決意をお聞かせください。

町長 1期目の公約は2期目の当選で住民には理解されたものと思つ。①平成22年のアンケートの結果では「合併は必要ない」が多かった。まずは、町が将来にわたって持続可能なまちづくりに努めてまいります。②各観光農園が自宅や農園に駐車スペースや仮設トイレ等を確保しています。6次産業化施設等の拠点づくり、産直館や市民農園も検討します。③新幹線本庄早稲田駅までのアクセス道路の整備は、本庄市と連携を図りながら検討してまいります。



会議録は、町役場・森の図書館にて、どなたでも閲覧できます。



一般質問は、議員本人が要約しています。全文は、(会議録)または(パソコン)から見られます。





問

田端恵美子議員

# 「ヘルプカード」の普及促進について

## 答 実施に向け検討します（町長）

問

障害や難病を抱えた人が必要な支援をあらかじめ記しておき、緊急時や災害時などの困った際に提示して、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするヘルプカードを作成、配付する動きが全国の自治体に広がりつつあります。障害者への理解を深め、つながりのある地域づくりを目指すためにも、ヘルプカードの普及を積極的に進めていただきますよう町長の見解を伺います。

町長

町といたしましては、災害発生時において、障害者、高齢者など災害時要援護者に対する対応については、きめ細かな対応が必要であり、特に聴覚障害者や内部障害者であることがわからない方に対して十分な配慮が必要と考えますので、ヘルプカードは有効なものになると思っております。ヘルプカードの導入につきましては、個人情報取り扱いに十分配慮する中で、実施に向け検討します。



## 「読書通帳」の導入で読書意欲を高める取り組みを

問

近年活字離れが指摘される中、町民に読書に親しんでもらう取り組みの一つとして、読書通帳を導入する動きが各自治体で見え始めています。各自治体においては、図書館の利用の推進を図るため、地域の特徴を生かしたさまざまな取り組みが行われていますが、読書通帳の導入は、財政負担を抑えた効果的な取り組みの一つとして推進できるものかと考えられます。



れます。導入に向けた検討を進めさせていただきます。

教育長

読書通帳は、子どもたちの読書意欲を引き出し、本を読む楽しさを知ってもらうことを目的に、読んだ本のタイトルや利用日などが記録できる読書記録ノートであります。当該システムを導入するに当たっては、通帳の製作やプリンターの導入及び保守に多額の費用を要することから、今後費用対効果の検証を含め、調査研究します。



問

原田 敏夫議員

# 町道1級2号線について

## 答 状況変化等を踏まえ検討する（町長）

問

①町道1級2号線（通称農免道路）は、本庄市、美里町、寄居町を結ぶ道路ですが、今では通勤学マイカーや大型コンテナ車の通行で、朝夕は信号待ちが4、5回ぐらいいなるとのことです。このような現状を踏まえて、今後の整備計画について。

町長

①町道1級2号線の整備計画については、一部幅員が狭い箇所があり、広域幹線道路としての機能が十分とは言えない状況にあります。町では、この道路の幅員について整備の必要があると考え、過去事業化を試みた経緯がございますが、事業の実施には至りませんでした。今後当時の状況の変化等を踏まえながら、改めて検討してまいります。

町長

②この交差点は県道蛭川普濟寺線と町道1級2号線が交差する箇所であり、朝の通勤時間帯は右折待ち車両の後続が詰まり、交通渋滞を起しております。町では過去交差点改良について事業化しようとした経緯があります。当時は残念ながら町の計画と地権者の意向が折り合わず、事業の実施には至らなかったものでございます。今後は本庄市や前後の道路の幅員手法を含めて検討してまいります。

町長

③現在、円良田地内の約1キロメートルの区間が未改良で、これまでも町では県道を管理している本庄県土整備事務所に対し、幅員整備の要望を行っております。この路線は寄居町と本



町道1-2号線 下児玉交差点

結ぶ道路ですが、今では通勤学マイカーや大型コンテナ車の通行で、朝夕は信号待ちが4、5回ぐらいいなるとのことです。このような現状を踏まえて、今後の整備計画について。

庄市を結ぶ主要な幹線道路で、重要な路線ですので、引き続き県へ要望を行ってまいりたいと考えております。

庄市を結ぶ主要な幹線道路で、重要な路線ですので、引き続き県へ要望を行ってまいりたいと考えております。



県道広木折原線（円良田地内）

